

構成組織と仲間のご奮闘に感謝申し上げます

—第25回参議院議員選挙で連合推薦候補26人(選挙区18人、比例区8人)当選—



田村麻美 (UAゼンセン)



磯崎哲史 (自動車総連)



浜野喜史 (電力総連)



岸 真紀子 (自治労)



水岡俊一 (日教組)

—ご当選おめでとうございます—

□比例代表

連合組織内候補

当選者のみなさん

※上段左から獲得票順／ 敬称略



小澤雅仁 (JP労組)



吉川沙織 (情報労連)



森屋 隆 (私鉄総連)

立憲民主党

(敬称略)

当選	岸 真紀子 (自治労／新)	157,848票
当選	水岡 俊一 (日教組／元)	148,309票
当選	小澤 雅仁 (JP労組／新)	144,751票
当選	吉川 沙織 (情報労連／現)	143,472票
当選	森屋 隆 (私鉄総連／新)	104,339票

国民民主党

当選	田村 麻美 (UAゼンセン／新)	260,324票
当選	磯崎 哲史 (自動車総連／現)	258,507票
当選	浜野 喜史 (電力総連／現)	256,928票
	石上 俊雄 (電機連合／現)	192,586票
	田中 久弥 (JAM／新)	143,467票

連合鳥取が組織の総力をあげた第25回参議院選挙は、7月4日(木)公示、21日(日)に投票を終了し、全国各地で開票が行われました。組合員をはじめとするみなさんのご支援により、連合推薦候補者は選挙区で18人、比例区で8人の当選となりました。

序盤からの報道各社による厳しい情勢発表にもかかわらず、構成組織、地域協議会においては、比例選挙区において支援した10人の比例区組織内候補の周知と候補者名での投票の徹底を図り、最後の最後まで粘り強く取り組みを進めていただきました。

その結果、我々の支援した立憲民主党、国民民主党は、あわせて17議席から6議席増やし、23議席の獲得となりました。一方、自民党は57議席を獲得、公明党と合わせると71議席となり、改選過半数を大きく上回りました。今後の国会における野党間の協力を強化し、緊張感のある国会運営を望みたいと考えます。

連合鳥取は、今回の選挙結果を受け止め、引き続き、「働く者・生活者の立場に立った政治勢力を拡大し、働くことを軸とする安心社会の実現に向けて、さらには県民の多様なニーズを丁寧に取り上げながら、広く社会から共感を得られる政治活動・労働運動」に取り組んでいきます。

今次選挙戦において、暑い中、昼夜を問わず献身的に取り組んでいただいたすべての構成組織、地域協議会、さらには単組・支部・分会の役員・組合員、OB・OGのみなさまに重ねて心からお礼を申し上げます。

核兵器廃絶と恒久平和の実現

核兵器廃絶
1,000万署名

にご協力を!

「働くことを軸とする安心社会」をめざして —労働政策セミナー・政策討論集会を開催—

6月22日(土)、県民ふれあい会館(鳥取市)に労働組合役員・組合員105人(うち女性16人・女性参画率15.2%)と連合鳥取の推薦議員(11人)が集い、参議院議員選挙を前に、政治・政党の現状について学ぶ「労働政策セミナー」と、今年度、鳥取県に提出する「2020政策・制度要求(案)」について論議する「政策討論集会」を開催しました。

◆労働政策セミナー

○講演 「参議院合区と『一強多弱』状態、どう考えるか」

講師：一橋大学社会学研究科教授 中北浩爾さん

<講演骨子>

①参議院合区問題について ②「一強多弱」状態を考える

○活動報告 国民民主党鳥取県連副代表

湯原俊二さん(写真右)

◆政策討論集会

○2020 年度連合鳥取政策・制度要求(案)提起&討論

<30 項目の要請内容>

- ①経済・雇用・労働政策
- ②行財政政策
- ③教育政策
- ④公共交通・運輸政策
- ⑤福祉・医療政策
- ⑥農業政策 他



※「政策討論集会」での議論をもとに精査した要請内容を、8月19日(月)に平井伸治鳥取県知事へ手交します。その後、担当部局と交渉を行う予定です。



セミナーの様子(写真上/講師：中北教授)



参加者の声

自治労鳥取県本部
藤縄和彦さん



参議院合区における問題の根本は、抜本改革を避けてきたことにあるとする話には大変興味を持った。最高裁は投票価値の平等を唯一絶対の基準としていない中、合区は小手先の対応で特定枠はさらに最悪とする話など、非常に納得できる講演で大いに勉強になった。

JR連合JR西労組
西村晴子さん



普段、政治について考える機会が少ないのが現状。今回、中北先生のわかりやすいお話を伺い、自身の生活を向上、社会の構造を変化させるためには、自分の行動が少なからず影響することを再認識することができた。

真の“ジェンダー平等”の 実現に向けて —鳥取県と鳥取労働局に要請行動を実施—

雇用における男女平等の実現に向けて、本川博孝会長と澤田陽子男女平等局長ならびに担当執行委員は、7月1日(月)に平井伸治鳥取県知事に、また、7月2日(火)には丸山陽一鳥取労働局長に要請書を手交しました。

特に今回は、「パワーハラスメント」防止に向けて5月29日に法制化、また6月のILO総会で条約が採択されたことを受けて、「ハラスメントのない職場環境づくり」について強く要請しました。

平井県知事(左)に要請書を手交



安心して生活できる賃金保障と 地域間格差の解消をめざして —最低賃金改定に関する要請書提出—

最低賃金は、最低賃金審議会(公益代表、労働者代表、使用者代表の各同数の委員で構成)において、賃金の実態調査結果など各種統計資料を十分に参考にしながら審議を行い決定しています。

7月2日(火)、本年度の「鳥取県最低賃金」の「鳥取地方最低賃金審議会」の審議スタートに向けて、丸山陽一鳥取労働局長に対し、①労働の対価としてふさわしい水準への引き上げ、②法令の周知と監督行政の強化、などを要請しました。

丸山労働局長(右から2番目)に要請書を手交



東部地協 鳥取砂丘保全再生活動で“知事感謝状”を受賞

東部地域協議会は、自然環境の大切さを体験する活動の一環として、鳥取砂丘再生会議の行っている「鳥取砂丘ボランティア除草」に2016年9月から毎年参加しています。

この功績に対し、7月13日(土)、鳥取県より「知事感謝状」が橋本智洋議長に授与されました。

本年度は8月18日(日)に実施します。(東部地協より案内済)



昨年の活動の様子



■鳥取砂丘ボランティア除草とは
美しい鳥取砂丘の姿を維持し未来に引き継いでいくため、2004年度から鳥取砂丘再生会議(県と市が運営主体)が取り組んでいる活動。

2019春季生活闘争 (中間集計)

連合鳥取2019春季生活闘争 要求・回答・妥結状況 (2019.6.30現在集計)

1. 賃金要求提出状況

※昨年同時期(2018.6.30)と比較

登録組合数	2019春闘: 99組合	2018春闘: 95組合	◆提出せず 体系維持分 を承認	2019春闘 組合数 9 組合員 808	2018春闘 組合数 5 組合員 237	◆人勤準拠	2019春闘 組合数 1 組合員 142	2018春闘 組合数 1 組合員 139
◆提出した	2019春闘 (2019.6.30) 【賃金関係】 調査対象: 114組合 平均方式 個別方式 合計	2018春闘 (2018.6.30) 【賃金関係】 調査対象: 113組合 平均方式 個別方式 合計	◆未提出	2019春闘 組合数 4 組合員 927	2018春闘 組合数 2 組合員 410	◆回答・妥結	2019春闘 組合数 76 組合員 12,360	2018春闘 組合数 76 組合員 12,638
組合数	76	9	85	78	9	87		
組合員	11,461	1,545	13,006	11,079	1,796	12,875		

2. 要求状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上げ方式			2019春闘 (2019.6.30)						2018春闘 (2018.6.30)						昨年対比		
			組合数	組合員数	金額		合計	合計率	組合数	組合員数	金額		合計	合計率			
					体系維持分	賃金改善分					体系維持分	賃金改善分					
加重平均	従業員	計	64	8,694	3,822	4,125	7,920	3.46	65	8,521	3,784	4,471	7,670	3.33	額	率	
	300人以上		17	5,584	4,071	3,944	8,424	3.72	21	5,113	4,029	4,914	8,506	3.77	250	0.13	
	299～100人		20	2,353	3,155	4,828	6,676	2.90	22	2,815	3,278	3,848	6,276	2.64	▲82	▲0.05	
	99人以下		27	757	5,334	2,776	8,343	3.22	22	593	6,154	4,145	7,540	3.29	400	0.26	
																803	▲0.07

3. 回答妥結状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上げ方式			2019春闘 (2019.6.30)				2018春闘 (2018.6.30)				昨年対比	
			組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計			
					額	率			額	率		
加重平均	従業員	計	55	8,048	4,796	2.03	56	8,320	4,180	1.92	額	率
	300人以上		16	5,311	5,318	2.18	21	5,113	4,515	2.02	616	0.11
	299～100人		18	2,266	3,720	1.66	20	2,720	3,562	1.74	803	0.16
	99人以下		21	471	4,189	2.01	15	487	4,347	1.92	158	▲0.08
											▲158	0.09

4. 2019春闘「地域ミニマム賃金」について

要求提出	提出した：10組合	水準目標クリアしていないが要求せず：28組合	
回答	水準目標をクリアした：0組合	改善したが水準目標をクリアできず：5組合	現状維持となった：2組合

5. 連合鳥取重点取り組み課題について

要求提出	提出した：96組合		提出せず労使協議：2組合		何もしない：2組合		人勤準拠：1組合		
取り組み項目	取り組みレベル	組合数	回 答 ・ 妥 結	組合数	取り組み項目	取り組みレベル	組合数	回 答 ・ 妥 結	組合数
非正規労働者への取り組み	○処遇改善	26組合	○処遇改善	12組合	総実労働時間短縮				
	○その他の取り組み	11組合	○その他の改善	5組合		時間外労働削減	○取り組み	21組合	
企業内最低賃金	○取り組み	33組合	○水準引上げ	12組合	年休の取得促進	○取り組み	42組合		
水準引き上げ	※対象者 パート等含む全従業員	(12)	パート等含む全従業員	(4)	年休付与日数増	○取り組み	9組合	○付与日数増	2組合
	組合員のみ	(17)	組合員のみ	(6)	所定労働時間短縮	○取り組み	9組合	○所定労働時間短縮	0組合
協定化	○取り組み	17組合	○協定化	5組合	時間外割増率引上げ	○取り組み	7組合	○割増率引上げ	0組合
	※対象者 パート等含む全従業員	(6)	パート等含む全従業員	(2)	希望者全員の65歳までの雇用確保	○取り組み	5組合	○制度導入	1組合
	組合員のみ	(11)	組合員のみ	(3)	制度導入	○取り組み	5組合	○春闘とは別途、継続協議	0組合
					組合員化	○取り組み	5組合		

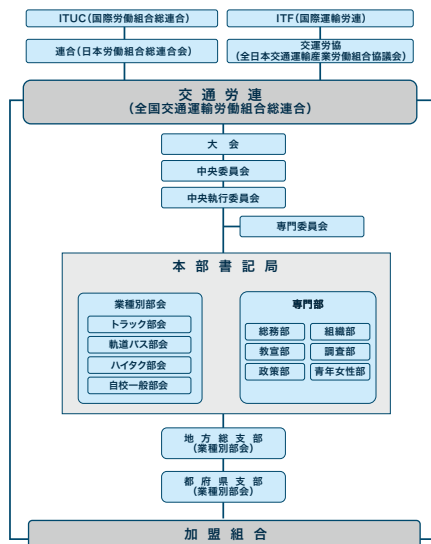
産別リレー

交通労連 におじゃまします

交通労連(全国交通運輸労働組合総連合)は、交通運輸業界で働く労働者が結集し、1964年11月に「全交運同盟」と「全交労」が組織統合し、誕生した産業別労働組合です(結成時200組合・55,000人)。

交通労連では、トラック運送・生コン・乗合バス・貸切バス・ハイヤータクシー・自動車学校・ホテル・自動車整備・ルートセールスなど、国民生活に欠かせない運輸、公共交通、道路・車に係る業種を中心とした企業内の労働組合が加盟しています。

交通労連は結成以来、働く仲間の職場や労働条件の改善・向上に取り組むとともに、交通運輸産業の発展に向けて政策制度の実現を重要な活動として取り組んでいます。



今回は…運輸労連をご紹介します

Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

連合鳥取 労組リーダーセミナー

■日 時 8月24日(土)

受付/9時30分～

開会/10時00分

閉会/16時00分(予定)

■場 所 まなびタウンとうはく

■内 容

①講演 「連合のビジョン」

講師/連合鳥取 田中 穂 事務局長

②講義 (1) 「働きやすい職場にするための

労働組合としてのかかわり方」

講師/鳥取県中小企業労働相談所(みなくる)米子

相談員 新井 英律子さん

③講義 (2)&グループワーク(発表)

「職場環境の改善に向けて

～こんな相談があったらどう対応する?～」

講師/鳥取県中小企業労働相談所(みなくる)米子

相談員 新井 英律子さん

■参加要請 別途、産別を通じて案内中

労働組合の
役員として

悩んでいるあなた!!
ぜひご参加を!!

青年委員会 学 習 会

■日 時 9月8日(日)

受付/9時45分～

開会/10時00分

閉会/12時00分(予定)

■場 所 倉吉体育文化会館

(中研修室)

■内 容

①講演

「労働組合と政治の関係

～若者の政治離れを

食い止めるには～」(仮)

講師/連合鳥取

田中 穂 事務局長

②グループ討議



連合鳥取 第28回連合鳥取杯親睦ゴルフ大会

■日 時 9月14日(土)

受付/7時15分～

スタート/8時00分～

■場 所 旭国際浜村温泉
ゴルフ倶楽部

■プレー費・参加費

プレー代(昼食・ドリンク含む)

+参加費(3,000円)=12,000円

※当日徴収いたします。

■参加申込メ切

8月16日(金)

■プレー後、表彰式を行います。



“ザ・議員”

伊藤 保

鳥取県議会議員

連合のみなさんには、大きな力をいただき、県議会議員6期目のパスポートをいただきお礼申し上げます。

新しい議会も、この6月から本格的に始動しましたが、県議会には、定例会の合間を活用して、超党派でいろいろなテーマで自主的に勉強する議連があります。今任期もたくさんの議連のお世話をさせていただくことになりましたのでご紹介いたします。

水産議連会長、畜産議連会長、中部地区振興議連会長、林活議連副会長、商工会活性化議連幹事長、スポーツ議連幹事長、ジャマイカ友好議連幹事長、鳥取・岡山県境議連幹事。さらに県議会野球部監督と時間に追われる日々になりそうですのでご理解をお願いします。



「全国和牛能力共進会」
出品牛の激励

松本 熙

ひろし

境港市議会議員

5月3日の憲法記念日には、県内でも様々な団体が講演会などを実施し、国の基本的条件を定めた根本法を改めて学んだ1日になりました。米子市文化ホールでは「落語で憲法」と題し、笑いの中で憲法を考える楽しい催しがあり、新聞を読まない、政治に関心がない、そんな若者たちに、是非とも憲法を自分ごとにしなればと感じました。

安倍首相は、憲法9条を改正し、2020年までに施行すると表明しています。改憲4項目の中で、「自衛隊の明記」と「緊急事態対応」を挙げて、自衛隊を正式な軍隊にすると断言しています。

8月で戦後74年が経ちます。現行憲法の下で、平和な日本を守りましょう。



吉田忠智さんと「平和憲法を守ろう」と訴える松本議員(右)
(2019.5.25/米子市文化ホール前)

7月21日に参議院選挙の開票が行われ、連合組織内候補者は10人中8人が当選しました。今回の選挙は2度目の合区選挙となったが、選挙区において立憲・国民が候補者を擁立できず、連合鳥取として支援する候補者がいませんでした。そして、県内投票率は49.98%、前回より6.30ポイントも下がって過去最低を更新しました。特に、若年層の棄権の理由として自分の1票では何も変わらない、関係ない、政治に興味がない、などがあげられると思います。為政者にとって白紙委任してくれる棄権者は都合の良い存在。選挙で勝ったことを御旗に都合の良い政策を押し進めていける。しかし本当に若者が政治に関心がないのか?そんなことはありません。先般、青年役員と政治に関する学習会の準備をしましたが、まとめきれない位の意見が出ました。多くの棄権者にいかに政治を「自分のこと」として考えてもらい、投票行動につなげるか、次の選挙に向けて、取り組んでいかなければならない。

(甲)



てんてんてんてん



再生紙を使用しています